

令和2年9月24日

養父市議会議長 深澤 巧 様

養父市文化会館（仮称）建設調査特別委員会
委員長 足立 隆 啓

養父市文化会館（仮称）建設調査特別委員会中間報告

閉会中において、本委員会の所管事務につき、調査したことを次のとおり中間報告する。

記

- 1 調査年月日 令和2年9月3日（木）
- 2 調査事項 養父市文化会館（仮称）整備事業の進捗状況について
- 3 調査内容

建設工事の進捗状況と新文化会館を新しい出会いの場とするための基本計画の策定状況について、文化会館建設推進室及びまちづくり文化芸術推進準備室から資料の提供と説明を受け調査した。

(1) 建設工事の進捗状況について

令和2年8月31日現在の進捗状況は、ホール棟2階床のコンクリート打設を完了し2階から3階の躯体工事を施工中で、進捗率は約30%となっている。4月から5月にかけて緊急事態宣言の中、新型コロナウイルス感染拡大防止措置として京阪神からの事業者の立ち入りを禁止し工事を自粛したこと、7月の記録的な長雨に続き8月の酷暑による作業効率の低下などにより、予定工期より半月ほど遅れが生じており、10月末を予定していた棟上げは11月中旬になる見込みである。

工期の遅れは、来年1月から5月にかけて行う内装工事等でとり戻すこととしており、工期内完成を目指している。

今後の予定は、11月中旬に図書館棟の工事に着手し、別途発注する備品・設備等のうち、電話、情報通信、図書システムIC機器設備は契約済みで、舞台音響設備、カーテンブラインド、看板、書架、什器・備品、貸館管理システム、植栽工事等を随時発注する予定にしている。

施設名称の募集については、6月末に締め切り780名、1,402件の応募があった。現在、選考会議等を開催し選考中である。

(2) 養父市文化会館（仮称）を新しい出会いの場とするための基本計画策定状況について

養父市文化会館（仮称）を新しい出会いの場とするための基本計画（案）を策定するため、諮問機関となる委員会を設置し委員5名を委嘱した。7月と9月の2回委員会を開催し、会長・副会長の選出と市の現状説明及び

意見交換を行った。委員会の設置期間は、令和2年7月14日から令和3年3月31日までとしている。

(まとめ)

養父市発足以来の最大事業となる養父市文化会館（仮称）整備事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等から若干の遅れを生じつつも、予定している令和3年5月末の完成に向け工事が進められている。

建設事業費は、当初計画では35億円としていたが、その後約44億円に増額している。文化会館整備に伴う周辺整備として、旧グンゼ事務所棟等の改修工事や周辺の道路改良工事が別途事業費で実施されている。約44億円に増額した本事業の建設事業費をこれ以上追加することがないよう強く求めるものである。

専門性の高い大規模な建設事業を円滑に進めるため、CM業務を委託しているが、市民の意見を取り入れ、また、事業の周知を図るための市民ワークショップについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、3月以降は開催していない。CM業務の内容や成果を検証し、今後の事業におけるCM業務の必要性を整理する必要がある。合わせて、未開催となっている市民ワークショップを早急に開くなど、市民意見の反映に努められたい。

今後も適切な安全管理及び品質管理を図るため、工程管理を徹底し建設工事を進められるよう最大限努力されたい。